

2019年4月1日付 鋼構造ジャーナル

## 「エンドタブ講習会」開く 従業員ら約50人が受講

### 広島県鉄構工業会

員の従業員ら約50人が受講した。

講習会では日本エンドタブ協会の役員が講師を務め、最初に「建築鉄骨の溶接とエンドタブ」について講義した。その後、管理技術者には①建築鉄骨の品質保証と第三者検査②鉄骨構造と溶接品質（鉄骨CO<sub>2</sub>溶接達人への道）③構造設計から見たエンドタブの重要性——の各テーマで座学を行った。

広島県鉄構工業会（理事長 山本泰徳・ステントス社長）と日本エンドタブ協会（理事長 松崎博彦氏）はこのほど、「エンドタブ施工講習会」を開催、組合

溶接技能者には担当講師が実技指導を行い、受講者の試験種目の溶接姿勢で固形エンドタブを用いた溶接試験を実施。溶接後の試験体は外観検査とUTにより

評価した。その後、評価の判定・講評のようをビデオ上映し、講師が重点などを説明した。